

平成29年5月31日

高松市長 大西秀人様

高松市庵治地区地域審議会
会長 高砂清一



建設計画に係る平成30年度から平成32年度までの実施事業に
関する意見の取りまとめについて（提出）

初夏の候、貴職におかれましては、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

日ごろは、本地域審議会の運営等につきまして、格別の御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、平成29年4月10日付け高地振第1106号で依頼のありました建設計画に係る平成30年度から平成32年度までの実施事業に関する意見について、本地域審議会としての意見集約を図り、取りまとめましたので、別紙のとおり提出いたします。

つきましては、取りまとめ事項の予算化及び事業化について、格段の御配慮をいただきますようお願い申し上げます。

建設計画に係る平成30年度から平成32年度までの実施事業に関する意見について

地区名：庵治地区

番号	項目	意見の内容
1	庵治保健センターの跡施設の利活用	<p>平成29年1月の総合センター開設に合わせ、庵治保健センターは牟礼総合センターに移転し、現在は庵治地域保健活動センターとして、市民の健康の保持及び増進を図り、地域保健・福祉に寄与することを目的に、食生活改善推進協議会や保健委員会、社会福祉協議会、福祉委員会、民生委員児童委員協議会等の活動の拠点となっている。また、この建物には、高松市社会福祉協議会庵治支所も入っており、施設の管理も行っている。</p> <p>特に、昨年10月には、高松市の新しい総合事業の開始に合わせて、当地区において、介護予防・生活支援サービス事業のうち、住民主体の訪問型サービスを提供する「庵治支援隊」を、この施設内に設置し、日常生活に支障のある要支援1・2等の高齢者に対して、ごみ出し・草抜き・買物などの生活支援を、他の地区に先駆けて実施しているところである。</p> <p>今後、高齢者の居場所や世代を超えた交流の場として活用するほか、将来的には、新しい総合事業の通所型サービスの実施場所として活用するとともに、建物管理の一部についても指定管理を視野に入れて検討を進め、引き続いて、この施設を庵治地区における保健と福祉の拠点として位置付けられたい。</p> <p>このように、この施設が地域住民に親しまれている現状を踏まえ、跡施設利用については、現在の利用形態を継続するとともに、加えて、週に1回程度はこの施設に、特に高齢者や子育て中の母親等の相談に応じる保健師等を待機させるなど、地域住民からの相談窓口機能や地域福祉活動への支援を更に充実させ、乳幼児から高齢者まで、健康で安心して暮らせる環境整備をされたい。</p> <p>また、高松市社会福祉協議会庵治支所についても、今後も引き続き、この施設に残り、施設管理を行うよう、配慮されたい。</p>
2	防災設備の整備	<p>平成25年度に、庵治地区コミュニティ協議会が市の補助金（ゆめづくり推進事業）を活用して町内61か所に津波による避難時の判断基準とするため、海拔表示プレートを設置した。より一層、防災意識の向上を図り、災害発生時の避難場所への誘導を迅速に行うため、このプレートに加えて、最寄りの一次避難場所の表示板を設置するとともに、2004年8月30日に発生した高潮被害を受けて、旧庵治町が設置した海拔表示板の表示が消えかかっていることから、その修繕をされたい。</p>
3	胸壁、陸こう等の管理体制の明確化	<p>今後発生が予測されている南海トラフ地震等の大規模地震を想定し、計画的に浸水被害の解消を図るため、県とも連携した、香川県地震・津波対策海岸堤防等整備計画等により、漁港・港湾において、胸壁、陸こう等が整備されつつありますが、今後、消防機関との連携を含め、陸こう等の管理体制を明確にされたい。</p>

4	教育施設への備蓄食料の配置	<p>庵治地区の備蓄食料については、庵治コミュニティセンターに備蓄しているところである。庵治地区は三方が海に囲まれ、災害発生時の避難ルートが少ないことから、コミュニティセンターに加えて、こども園、小学校、中学校の教育施設へも備蓄食料を配置するとともに、備蓄食料の保存期限を迎える前に、教育施設での防災訓練に活用されたい。</p>
5	庵治地区の今後のまちづくりの方向性	<p>庵治地区の高齢化率は、平成29年5月1日現在、39.8%で、33年後（平成62年）の高松市の推計値36.4%を既に上回っている。</p> <p>また、地域行政組織再編計画によって、当地区内にあった庵治保健センター、地域包括支援センターサテライト庵治が牟礼総合センター内に移転した。</p> <p>このような中、市では、集約拠点への都市機能の集積と市街地の拡大抑制によるコンパクトで持続可能な都市構造「多核連携型コンパクト・エコシティ」への実現に取り組み、その取組を後押しするため、高松市立地適正化計画（仮称）素案を公表した。その中で、庵治地区は、集約拠点、都市機能誘導区域・居住誘導区域が設定されていない。また、今後、高松市公共施設再編整備計画（案）の内容が具体化する中で、各種施設の統廃合が進み、まちとしての活力が低下することを強く懸念している。</p> <p>このような状況を踏まえた上で、市として、今後、庵治地区の住民が、安心して暮らし続けられるために、どのように取り組んでいくのか、そのまちづくりの具体的な方向性について示されたい。</p>
6	庵治の観光資源の情報発信の強化	<p>庵治町は、三方が海に面し、風光明媚な景観を擁し、豊かな自然に恵まれており、映画「世界の中心で、愛をさけぶ」のロケ地として知られるようになったが、庵治町内には、昨年オープンした瀬戸の風景を体感でき、アートと遊べる、あじ童王山公園、屋島を背景に石の彫刻が点在する城岬公園、併せて、瀬戸内海国立公園の美しい島々を一望できる四国の最北端の景勝地にある竹居観音岬、瀬戸内海の見事な景観を楽しめる御殿山園地、庵治町創造の森等を含め、魅力ある観光資源があり、なお一層庵治町への来訪者を増加させるため、観光ガイドブック、観光サイト等の更なる充実など、情報発信力の強化に取り組まれたい。</p> <p>また、あじ童王山公園の展望広場に瀬戸内海の島々の眺望説明板を設置しているところであるが、合併記念広場からの眺望は更に素晴らしいことから、同広場にも眺望説明板を設置されたい。</p>
7	農業の振興	<p>少子・高齢化の進展によって、農業離れ、農業後継者不足、耕作放棄地の増加という問題が深刻化している。</p> <p>このような中、市は集落営農の推進や認定農業者制度などの施策に取り組まれているが、小規模零細兼業農家は、集落営農も進まず、多くの課題を抱えたまま、農地を確保するため、厳しい農業経営が続いている。</p> <p>市は、このような現状をどのように認識しているのか、今後、安定的な農業経営を行うための対応策を示されたい。</p>
8	市道の整備	<p>市道（竹居線・明神永之谷線・高橋線西詰めの狭隘部分）の整備については、鋭意進められているが、今後の具体的な整備スケジュールについて示されたい。</p> <p>また、高橋線西詰り部分の拡幅が完了後、速やかに牟礼庵治線マルナカ八栗店前交差点での庵治側からの右折専用レーンの整備に着手されたい。</p>